



年 組 名前

道新で ワークシート

卓上四季

五色の短冊が風に揺れる。赤色に黄、青…。あちこちで七夕飾りを見かける。目に入ると、近寄ってじっくりと読んでしまう。子どもたちのいろんな願いごとを知りたくなる▼どこでも一番手に来るのは将来の夢だ。宇宙飛行士やお店屋さん、パン屋さん、サッカー選手。昔も今も変わらない。こんなのがあった。△プリキュアになりたい▽。とてもキュートだ▼欲しいもの、接したいものも負けずに目立つ。力のこもる幼い字で△シヨベルカーをください▽△きょうりゅうに会いたい▽。そうそう、夢はやっぱり大きくありたい▼日本古来の姿は夏と秋が行き合う祭りだった。来臨する神のために乙女が機を織ったという。願いごとの風習は唐代の中国から伝わった。恋人同士の牽牛と織女に技芸が上達するように供え物をして祈った。技芸の中には習字が入っているから、今の若者が成績向上や合格を願うの物的外れではなさそう▼天の川をはさんで輝く織女はこと座のベガ、牽牛はわし座のアルタイルである。地球からの距離はそれぞれ25光年、17光年もある。はるか遠い二つの星から届いた光を眺めていると思うと、不思議な気分になる▼果てしない宇宙に浮かぶ地球では今もなお争いが絶えない。△ウクライナとロシアの戦争が早く終わりますように▽。母親が書いたのだろうか。幼子の短冊のそばに飾られていた。同じ思いで天を眺める。 2023.7.7

2023年 7月7日(金)朝刊 全道版 1ページ (記事は再編集しています)

- ① 七夕には願い事をする風習がありますが、どのようなことがきっかけとなったのでしょうか。そのことが分かる文章を書き抜きましょう。
- ② 願い事は誰にするものと考えられているのでしょうか。
- ③ みなさんは、七夕にどんな願い事をしますか。短歌(5・7・5・7・7)や俳句(5・7・5)の形式で書きましょう。